

組織名	新宿自治創造研究所
-----	-----------

1 組織概要

所在地	東京都新宿区西新宿七丁目5番8号 新宿都税事務所2階
TEL	03-3365-3474(直通)
FAX	03-3365-3472
URL	https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index07_04.html
e-mail	jichisozo@city.shinjuku.lg.jp
設立	2008年4月1日
設置都市等	東京都新宿区
代表者	

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	○2006年後半、政策形成と人材育成の役割を担う「シンクタンク」の設置について企画部門が検討を開始した。 ○2007年4月から企画部門に専任の担当を配置し、他自治体シンクタンク視察、アドバイザーを迎えての検討会の実施など、設立に向けて具体的な準備を行った。 ○2008年4月、「新宿自治創造研究所設置規則」により、区の内部組織として創設された。
見直しの動向	○職員の政策形成能力の向上や人材育成の観点から、区人材育成センターとの連携を強化している。
役割(2024年時点)	○区の様々な政策課題に関する調査研究の実施 ○データの活用による政策立案支援の実施 ○研究所からの情報発信のためにフォーラムを開催
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	☒ 自治体の内部組織 ☐ 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) ☐ 公益法人(財団法人・社団法人) ☐ 大学の附置機関 ☐ 広域連合 ☐ その他(具体的に:)
常勤職員数	2 人
うち常勤研究員数	2 人
非常勤研究員数	2 人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	☒ 専門的な知識を有した研究員の採用 ☒ 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) ☐ 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 ☒ 設置市の企画部署と連携した研究の実施 ☒ 設置市の関係部署と連携した研究の実施 ☐ その他(具体的に:) ☐ 特に行っていない
庶務体制	研究所担当課が行っている(常勤研究員が兼務)。
市民参加、外部連携	特になし

(3) 会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2024年度予算	5,963	千円
2023年度決算	3,782	千円
2022年度決算	4,101	千円
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1) 活動実績	
定期刊行物	2008年度～2009年度：年度末に活動報告書を発行 2010年度～：年に数回、研究所レポート(冊子)を発行(2020年度は発行なし)
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	☐ 設置市からの要請 ☐ 外部有識者等からの助言・示唆 ☒ 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 ☒ 貴団体・組織で自ら発案 ☐ その他(具体的に：)
イ 情報発信 (複数選択可)	☐ 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う ☐ 設置市の関係部署に、報告や提言を行う ☒ 設置市の市内の広範囲に、成果物を配布する ☒ 報告会を実施する ☒ 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する ☐ その他(具体的に：) ☐ 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	☒ 設置市の行政評価制度により評価を受けている ☐ 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている ☐ 外部有識者から評価を受けている ☒ 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている ☐ その他(具体的に：) ☐ 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	テーマごとの担当制であり、調査、会議への出席、資料作成、報告書の執筆等を行う。
研究員の専門性育成の手立て	セミナー参加、自治体視察による情報交換・人的交流
研究員のキャリアパス等	i) 行政管理課 → 当研究所 → 交通対策課 ii) 企画政策課 → 当研究所 → 都市計画課 iii) 県臨時職員 → 当研究所 → 市職員 iv) 大学院 → 当研究所 → 大学非常勤講師 v) 他都市研究所 → 当研究所 → 民間研究所
その他	特になし

5 2024年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
新宿区の将来の姿に関する研究	新宿区の将来の姿を見据え、「人口編」「ウェルビーイング(Well-Being)指標編」「DX編」の三編について基本政策・施策の参考となるよう調査・研究を行い、研究成果を研究所レポートにまとめ、発行した。 「人口編」では過去・現在・未来における区の全体像とその傾向と特色を示している。「ウェルビーイング(Well-Being)指標編」では一般的なウェルビーイングの政策活用に関する先進自治体の取り組みを整理し、政策への活用の可能性を検討している。「DX編」ではDXがもたらす可能性や課題について考察し、またまちづくりにおけるDXの方向性を提示している。 https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/jichi01_002036_00003.html
2020年国勢調査に基づく新宿区地域別将来人口推計・世帯推計	2020年国勢調査の集計結果から、「新宿区地域別将来人口推計」と「新宿区将来世帯推計新宿区全体・地域別」をまとめ、Webレポートにまとめて公表した。 https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/jichi01_002036_00003.html